
屋上の足跡

くむ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

屋上の足跡

【Nコード】

N8499H

【作者名】

くむ

【あらすじ】

変わらない日常。でもキミが光をくれたんだ。

第1話

春が過ぎ・夏がやってきた。

暑い暑い夏が。

授業中窓の外を見つめてみた。

蝉が木に止まり鳴いている

(・・・うるさい。授業に集中できない。)

まあ授業に集中する気なんてさらさらない。

俺は高3だから焦らないと駄目なんだろうけどさ・・・

好きな事は一応ある事はある。

でも踏み出す一歩が掴めない。

それに・・・親からはなんの期待もされていない。

一人っ子の俺は家に帰っても両親との会話はほとんどなく・初めのうちはなぜか悲しかったが・今は慣れてしまっただけなんとも思わない。

『俺の事心配してくれんのはれおだけだもんなあ・・・』

キンコーン

独り言を言ってるうちに授業は終わってしまった。

授業が終わると1人の男が寄ってくる。

『安月ー購買いかね?』

笑顔で話しかけてきたコイツは林いつき。

ワックスでツンツンたてた黒髪にキリッとした一重だ。

小学生の時から付き合いでそれからずっと一緒にいる。

人柄も良いし、女子にもモテると思う。

まあ俺たちの通ってる学校は男子校だけど。

『おう。行こうぜ』

すっと立ち上がり、2人で廊下まで出る。

昼休みになったからか廊下には結構人が出ていた。

俺といつきは購買に向かう。

『なあ、最近部活どうなの?』

歩きながらいつきに顔を向ける。

『ん、ああ。試合近いしなんせ最後だからな。

みんな張り切ってる』

いつきはバスケット部のキャプテンだ。

本人はキャプテンにはなるつもりはなかったらしいが、周りの強い希望でなったらしい。

確かにリーダーシップとれるし、優しいし。

『そか。悔いの残らない試合できたらいいな。』

『おー。サンキューな。ありがと大好きなあっちゃん（はあと）』

『・・・吐き気がする。やめろ』

そう言って俺が睨み付けるといつきに頭をくしゃくしゃされた。

『生意気な奴めー！！』

でもそういうツンツンなトコが可愛いんだよなー
女顔でチビだし』

『うつ・・・』

人が気にしてる事を・・・

確かによく女の子に間違われたりする。

髪の毛も肩まであるし体も華奢だからだろうな。
・・・いつきみたいに男らしく生まれたかった。

落ち込んで下を向いてる俺をみて、少し言い過ぎたと反省したみた
いで

『わっ悪かったってー』

ほらパン奢ってやるから機嫌治せ。なっ』

と少し慌てた様子で俺の顔を覗き込む。

その様子が可笑しくてぷっと吹き出してしまった。

『・・・なっなんだよ』

いつきはびっくりしたような顔で俺を見る。

『じゃあメロンパンとクリームパンとクロワッサンな』

ニヤツとした笑顔をいつきに向ける。

『はあ・・・今日だけだからなあー』

ふうっとため息をつくがその表情はなんだか笑っている。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8499h/>

屋上の足跡

2010年12月25日14時33分発行